

11月も中旬をむかえます。

冬の訪れを考えると、この先、寒さは嫌だ! どうしよう!...雪を嫌だ!と
なりますね。

でも、発想を変えて、“4ヶ月経つと春がやってくるんだ”に
してみませんか。

■ ことたちの活動は、すっかり屋内へとその
場を移していると言っていいでしょう。
気候は初冬ですが、屋内のことたちは、
元気いっぱい毎日です。

秋、9月の運動会では、ことたち
一人ひとりが走って!

跳ねて! 跳びました!

一人ひとりが 身体の育ちを
観せてくれました。

いえ! 違うんです!!

身体の育ち だけでは無いんです!!

運動会では、ことたちは心の育ちも
観せてくれたんですよ。!

「最後までがんばる!!」

「ひとりでは出来ないけれど、仲間と
力を合わせてがんばろう!!」

つぼみ組、年少組、年中組は

どち論のこと、年長組と

率先して観せてくれました。

そんなことたちは2学期

の生活発表会へ向けて

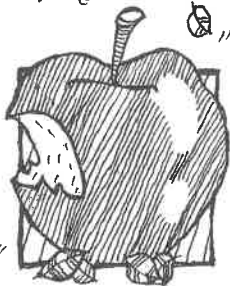
スタートをはじめております。

12月の生活発表会では一人ひとりの

心の育ちはどち論ですが、

一人ひとりの情操面の育ちも

観ることが出来ますよ。



(心の育ちシリーズ) いじめていなくてもいじめられている!

私の心に残っている一言とは、小学校6年生の時の担任の先生が言っていた言葉。
私が小学校6年生の時、ひとりの女の子がクラスでいじめられていました。その頃の私は
正直、その子が好きでできなかったし、その子にも仲の良い子がいたのであまり関わる
事はありませんでした。

夏休み明けの日、ある男子が、「こんな奴に配られた給食は嫌だ」と言いました。
その配った女の子へのいじめはこの頃でした。

運動会の日、女の子は先生に男子からいじめられている事を話しました。次の日、クラス
全員に先生から話しがありました。先生は泣きながら、いじめていた人達に話していました。

その時、先生が「いじめていた事を知っていた人はいますか?」と言いました。
そう聞かされてほとんどの人が手をあげました。私も手をあげました。

その時先生は、「いじめなくても知っていたのならあな達といじめた人です」と言われ
ました。この言葉は全員の心に響いたと思います。私の心にはすごく響きました。

いじめられていた女の子は、仲の良い友達にさう言われていたそうです。さなつらい
事、私だったらたえられないと思います。

助けてあげればよかった。注意しなればよかった。さなことは思い浮かびませんでした。

その日、みんなで女の子にあやまりました。次の日から女の子は笑顔で学校に
来ることができました。それでも、きっと心のきずは残っていると思います。

なので私は、先生の言葉をわすれずに、いじめがあったら、
見過ごさずに声をかけてあげたいです。

“101人の泣いて笑った一言”